

各教育事務所の調査結果

宇城教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
- 2 質問紙調査結果と分析
- 3 今後の取組

1 (1) 小学校の成果と課題

1 成果

○日常生活で長く使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使い方を理解することについては良好である。

* 故事成語「百聞は一見にしかず」の使い方として適切なものを選択する設問

【国語 A 1 二 (2)】

○乗法，除法を加法，減法より先に計算することなど，計算の順序についてのきまりを理解することについては良好である。

* $100 - 20 \times 4$ を計算する設問

【算数 A 1 (5)】

2 課題

○書いた文章をより良い表現に書き直すために，目的に応じた表現を検討することについては課題がある。

* 「さびしい」という気持ちを情景描写で表現するために適切なものを選択する設問

【国語 A 3】

○直径の長さから円周の長さを求めることができるなど，直径，円周，円周率の関係について理解することについては課題がある。

* 直径が示された円の円周を求める式と答えを書く設問

【算数 A 5 (1)】

1 (2) 中学校の成果と課題

1 成果

○言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、時間的・空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写といった視点を定めて読み深めることについては良好である。

* 主人公が「素通り出来なくなる」と思った理由として適切なものを選ぶ設問

【国語 A 3 一】

○線分の垂直二等分線など、基本的な作図の方法について理解することについては良好である。

* 与えられた方法で作図される直線について、正しい記述を選ぶ設問

【数学A 4 (2)】

2 課題

○歴史的仮名遣いなどの古文独特の文語のきまりを理解することについては課題がある。

* 歴史的仮名遣い「まうけて」を現代仮名遣いに直して読む設問

【国語 A 8 五】

○錐体の体積は、それと底面積と高さがともに等しい柱体の体積の $1/3$ の関係について理解することに課題がある。

* 円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ設問

【数学A 5 (4)】

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な18項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
等 関心	1. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	68.1	65.0	63.8	58.0	56.3	54.8
(言語活動・指導状況) 学習状況	2. 友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか	48.3	49.1	49.5	41.8	44.3	48.6
	3. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	85.6	87.9	84.9	82.7	81.6	75.3
	4. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	89.7	86.9	82.0	84.9	81.5	71.5
	5. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	75.2	73.8	71.9	62.3	55.6	53.3
	6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)※1時間以上の合計	63.5	65.0	55.9	78.9	75.2	67.4
学習時間等	7. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	54.8	59.4	61.0	52.2	43.4	46.6
	8. 家で、学校の授業の予習をしていますか	39.4	41.9	43.2	26.2	30.5	34.2
	9. 家で、学校の授業の復習をしていますか	61.2	60.7	54.0	69.9	53.8	50.4

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な18項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
生 学 活 校	10.先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	81.4	82.5	79.7	79.4	77.8	74.1
習 生 慣 活	11.普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(2時間より少ない)	95.5	93.6	91.3	72.7	73.3	67.0
家 庭	12.家の人(兄弟姉妹は除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	94.7	96.7	96.5	84.7	88.4	83.1
地 域	13.今住んでいる地域の行事に参加していますか	78.8	74.8	68.0	43.3	40.4	43.5
社 会	14.テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	84.5	83.9	84.7	82.3	81.5	82.1
将 来	15.将来の夢や目標を持っていますか	91.3	87.6	86.7	77.3	71.4	71.4
自 尊 意 識	16.ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.1	94.0	94.4	94.1	93.6	93.9
	17.難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	76.9	74.4	75.1	68.1	63.7	68.0
意 規 識 範	18.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	97.1	96.4	95.2	94.6	93.4

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な10項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
向学 上力	1.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	47.8	47.6	61.1	60.0	61.6	79.8
方指 法導	2.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあてねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか	100.0	98.3	96.9	100.0	99.4	94.0
ピコ yun	3.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、算数・数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか	43.5	57.6	40.8	30.0	37.8	21.4
調 査 の 結 果 活 用	4.平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100.0	95.1	93.6	100.0	93.0	90.4
	5.平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	73.9	78.6	81.1	40.0	69.2	75.6
指個 導	6.調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	52.2	33.8	29.0	60.0	35.5	22.7
国 語	7.調査対象学年の児童(生徒)に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	95.7	97.8	97.8	90.0	97.1	98.3
学 家 習 庭	8.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数・数学共通)	78.3	83.0	85.4	60.0	73.3	76.9
研 職 修 員	9.模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	91.3	96.4	94.9	90.0	89.5	86.7
	10.授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか(13回以上)	30.4	43.7	30.1	30.0	25.0	15.4

2 (3) 質問紙調査に関する分析

- 「友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか」という項目は、県及び全国平均を下回っている。
- 「家で、学校の授業の復習をしていますか」という項目は、県及び全国平均を上回っているが、「家で、学校の授業の予習をしていますか」の項目は、県及び全国平均を下回っている。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という項目は、県及び全国平均を上回っている。
- 「『朝の読書』などの一斉読書の時間を設けましたか」という項目は、全国平均を下回っている。
- 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか」という項目は、県及び全国平均を下回っている。

3 今後の取組

- 各学校が「肥後っ子輝きナビ」を用いた課題分析を行い、全職員が課題を把握し、課題改善に向けた取組を推進するよう、校長会議や教務主任研修会等で周知する。
- 管内の学力の状況、質問紙調査から見える児童生徒の実態や学校の取組状況について詳しい分析を行い、成果と課題を整理し、学校への指導の焦点化を図る。
- 学校訪問の際、以下の点を指導する。
 - ・学力との関係が深いとされる「見通しと振り返り」「言語活動の充実」について
 - ・家庭学習の課題の与え方について
- 各学校の学力向上に係るPDCAの検証改善サイクル確立に向けた取組を把握する。